



Title	独文学報 第39号 編集後記/奥付
Author(s)	
Citation	独文学報. 2023, 39
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/103323
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

編集後記

昨年、テキスト・マイニングを用いてスイスの文化政策担当大臣フィリップ・エッターの講演を分析する機会がありました。たしかに、テキストを一つひとつ読んでいたのでは漠然と感じるに過ぎない「糸」と「糸」の結びつきを可視化する手法は斬新でした。しかし、私がこの分析に着手したのは、エッターの講演をすべてていねいに読んだうえのことです。他方、この手法を用いて成果を上げている研究者のなかには、「テキストを自分で読む必要はない」と話す者もいます。これに対しては違和感を覚えてしまうのは、私が保守的な研究者だからなのでしょうか。その意味で、今号に掲載された2編の論文と1編の研究ノートは、文学研究の領域を広げる試みを含むと同時に、クロース・リーディングを大切にしているという点で、安心して読むことのできる作品でした。

第39号もまた、私が前期のあいだ本務校の仕事に追われたために、刊行が大幅に遅延してしまいました。こころよりお詫び申し上げます。

再校をとりまとめた時に、本学会会員でドイツ文学研究室の授業も担当していただいた市川明先生が急逝されました。一度は本誌に執筆を申し込んでいただいたこともあったのですが、結局は投稿に至らなかったことが残念でなりません。先生のご冥福を心からお祈りいたします。

(葉柳)

編集委員会

三谷研爾 山本賀代 山城貴茂 葉柳和則

学会誌投稿規定

1. 大阪大学ドイツ文学会会員であることを、本誌への投稿資格とする。ただし、編集委員会が特別に、非会員に原稿を依頼することがある。
2. 投稿原稿の内容は、ドイツ語圏の言語、芸術、文化に関する論文、研究ノート、書評などとする。
3. 投稿原稿の採否は、編集委員会の審査に基づいて決定する。
4. 論文は注を含めて20000字程度以内とし、これに欧文要旨を添える。研究ノート、書評などは、8000字程度以内とする。原稿の書式の詳細については、執筆要領を別に定める。
5. 投稿希望者は、予定題目とその概要（800字程度）を、毎年1月10日までに編集委員会宛て文書で申し込む。完成原稿の提出締切は、毎年5月10日とする。
6. 本誌に掲載された論文、研究ノート、書評は、原則として順次大阪大学機関リポジトリ OUKA に登載する。

独文学報

第39号 2023年11月1日 発行

編集・発行 大阪大学ドイツ文学会
〒560-8532 豊中市待兼山町1番5号
大阪大学大学院人文学研究科ドイツ文学研究室
電話 06-6850-5116

デザイン 西田優子
組版 松本工房
〒534-0026 大阪市都島区網島町12-11 雅叙園ハイツ1010号室
電話 06-6356-7701